

厚生労働科学研究費補助金（難治性疾患政策研究事業）

分担研究報告書

ベーチェット病における皮膚粘膜活動性の検討・皮膚粘膜の重症度分類作成

研究分担者 川上 民裕 東北医科薬科大学医学部皮膚科学教授

研究要旨

ベーチェット病皮膚粘膜症状を口腔アフタ性潰瘍、陰部潰瘍、結節性紅斑様皮疹、皮下の血栓性静脈炎、毛囊炎様皮疹/ざ瘡様皮疹、疼痛 NRS スコアの 6 項目で設定した重症度案を作成した。東北医科薬科大学皮膚科 2023 年 6 月のベーチェット病 9 症例を対象して計測した。重症度は最重症 0 例、重症 1 例、中等症 5 例、軽症 3 例であった。口腔アフタ性潰瘍・結節性紅斑様皮疹・疼痛は重症度に影響が推定できた。総スコアと疼痛スコアに正の相関を示し、患者目線とも合致していた。ベーチェット病皮膚粘膜症状重症度現行案は、皮膚粘膜病変重症度指標として活用可能と判断する。今後は、レジストリー患者登録と Quality index 開発も検討する。

A. 研究目的

ベーチェット病の 4 主病変のうち、口腔粘膜のアフタ性潰瘍、外陰部潰瘍、皮膚症状の 3 症状は、皮膚粘膜病変と呼ばれる。その活動性と重症度を検討し、皮膚粘膜病変重症度指標を作成する。そして実臨床への還元と応用を図る。あわせて、レジストリー患者登録と Quality index 開発も検討する。

B. 研究方法

過去の論文を参考として、ベーチェット病皮膚粘膜症状を口腔アフタ性潰瘍、陰部潰瘍、結節性紅斑様皮疹、皮下の血栓性静脈炎、毛囊炎様皮疹/ざ瘡様皮疹、疼痛 NRS スコアの 6 項目で設定した重症度案を作成した。総得点 40-50 が最重症、25-39 が重症、11-24 が中等症、2-10 が軽症、0-1 がほぼ寛解、と設定した。このベーチェット病皮膚粘膜症状重症度現行案を使用した実態調査として、東北医科薬科大学皮膚科を受診したベーチェット病患者の重症度を計測した。2023 年 6 月 13 日から 1 か月行なった。

(倫理面への配慮)

東北医科薬科大学病院の倫理委員会から承認されている。

C. 研究結果

東北医科薬科大学皮膚科にてベーチェット病 9 症例が対象となった。性別は全例女性 9 例、平均年齢 42.6±15.0 歳、アプレミラスト内服 7 症例、プレドニゾロン内服 1 症例。重症度現行案では最重症 0 例、重症 1 例、中等症 5 例、軽症 3 例となった。口腔アフタ性潰瘍は重症度に影響 (1 症例除く)、結節性紅斑様皮疹は重症度に影響 (1 症例除く)、疼痛 NRS は重症度に影響などの結果が得られた。総スコアと疼痛スコアに正の相関を認めた。

D. 考察

スコア計算は EXCEL 作成で対応できるので使用は容易であった。全例治療中であるが中等症・軽症が多数を占めたのでスコア点数範囲は妥当と思われた。結節性紅斑様皮疹・皮下の血栓性静脈炎を一緒のスコアにすることに支障はなかった。口腔アフタ性潰

瘍・結節性紅斑様皮疹・疼痛は重症度に影響が推定できた。総スコアと疼痛スコアに正の相関を示し、患者目線とも合致していた。

E. 結論

ベーチェット病皮膚粘膜症状重症度現行案は、皮膚粘膜病変重症度指標として活用可能と判断する。

今後は、レジストリー患者登録と Quality index 開発も検討する。

F. 研究発表

1) 国内

口頭発表	2 件
原著論文による発表	1 件
それ以外（レビュー等）の発表	1 件

1. 論文発表

原著論文

1. Ikeda T, Komatsu T, Yokoyama K, Kawakami T. Earlier continuous administration of mepolizumab for EGPA based on cutaneous findings. *Journal of Cutaneous Immunology and Allergy in press. J Cutan Immunol Allergy. 2023;6:132-133.*

2. それ以外（レビュー等）の発表

川上民裕 ベーチェット病皮膚病変 16-22 現場がエキスパートに聞きたいベーチェット病 日本医事新報社 東京 千代田区 2023 年

2. 学会発表

1. Kawakami T, Yokoyama K, Ikeda T, Nishibata Y, Masuda S, Tomaru U, Ishizu A. The relationship of neutrophil extracellular traps in superficial venous thrombosis of Behcet's disease. The 5th International Conference on Cutaneous Lupus Erythematosus (ICCLE2023), Tokyo, 9-10, 2023

2. Kawakami T, Yokoyama K, Ikeda T, Nishibata Y, Masuda S, Tomaru U, Ishizu

A. Neutrophil extracellular traps in superficial venous thrombosis of Behçet's disease. International Societies for Investigative Dermatology (ISID), Tokyo, Japan. 10-13, 2023

3. 川上民裕 臨床所見は結節性紅斑様皮疹で、Deeper Cut の病理所見で皮下の血栓性静脈炎を呈した不全型ベーチェット病の一例 第 6 回日本ベーチェット病学会シンポジウム 2023 年 12 月 9 日 東京医科大学病院臨床講堂

G. 知的財産権の出願、登録状況

(予定を含む)

1. 特許取得

ない

2. 実用新案登録

ない

3. その他